

## 連続講座・日韓の「歴史問題」の論点を探る

### ● 開催趣旨

2023年には、尹大統領の訪日、岸田首相の訪韓があり、日韓間の外交では協調・協力に向けた動きが目立ちました。また、相互のコロナウイルス対策の各種制限が緩和されたことにより、人びとの往来・交流も活性化しています。このようななかで、日韓間の葛藤となって来た「歴史問題」についても、市民レベルでの認識を深めていくことが求められています。東京大学韓国学研究センターでは、史実の把握やこれまでの施策、法的問題などの論点について、「歴史問題」の何がどう問題なのかを基本に立ち返って考えるべく、連続講座を開催します。1月21日は、この間、強制動員被害の訴訟問題での官民協議会のメンバーとして尽力されてきた高麗大学の朴鴻圭教授と、被害者支援の活動を続けて来た矢野秀喜氏、和解学の創成に取り組む早稲田大の浅野豊美教授をお招きします。

### ● 第16回 強制動員被害の補償問題と和解の展望

講師： 朴 鴻圭（高麗大学校政治経済学教授）

矢野 秀喜（強制動員問題解決と過去清算のための共同行動）

コメント：浅野 豊美（早稲田大学政治経済学術院教授）

### ● 日時：2024年1月21日（日）13:30～16:00

Webex ウェビナーを用いたオンラインシンポジウムとして開催します。（要・事前登録）

### ● 言語：日本語（通訳なし）

### ● 参加費無料、ただし1月19日（金）までに事前登録が必要です。

下記のウェブフォームまたはメールでの登録をお願いいたします。

開催日までに、事務局よりメールでウェビナーのURLをお知らせします。



・ウェブフォームでの事前参加登録は、[こちら](#)→

・お問い合わせ [cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp)（東京大学韓国学研究センター事務局）

#### 【注意点】

- ・本シンポジウムは、Webex によるオンラインシンポジウムです。シンポジウム参加のため、事前に Webex のインストールをお願いします。→ダウンロードセンター (<https://www.webex.com/ja/downloads.html>)
- ・ Webex の操作方法や接続不備については恐れ入りますが、Webex のヘルプセンター (<https://help.webex.com/ja-jp>) をご活用ください。

主催 東京大学韓国学研究センター

後援 韓国国際交流財団

協力 早稲田大学国際和解学研究所

KOREA **KF**  
FOUNDATION

한국국제교류재단